

口羽家文書

概要

長府藩士口羽家に伝来した文書・記録類。

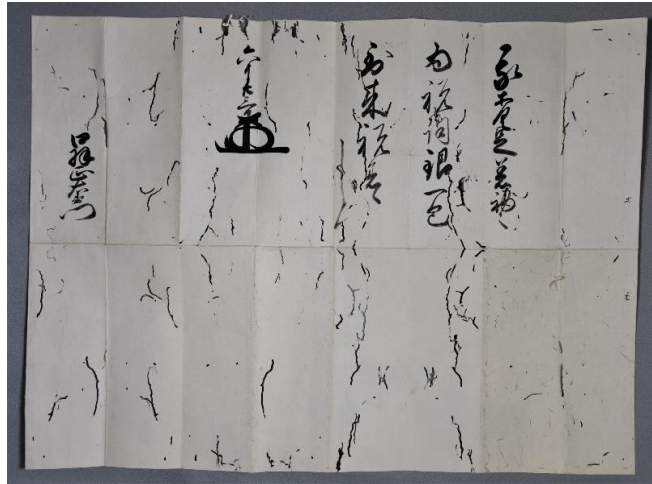
当初、栗原氏を称して毛利秀元へ仕えていたが、後に口羽姓へ改めた。

宝暦13年(1763)の分限帳では「御馬廻通」に口羽庄右衛門が記載されている。

伝来する文書・記録類は享保元年(1716)から明治3年(1870)のものであり、長府藩歴代藩主の書状が中心となる。

なお、当該資料は口羽家と親戚関係にあった桂弥一が収集・所有していたもの。

画像



毛利元矩書状

製作年・時代

江戸時代中期～明治時代

総点数

160点

指定

所蔵・寄託

所蔵

参考文献

備考